

Bリーグ越谷アルファーズ所属の井上宗一郎選手へインタビュー。世田谷区立弦巻小学校・梅丘中学校を卒業され、男子バスケットボール日本代表に選出されています。シーズン最終戦を控えた4月19日にホームアリーナ越谷市立総合体育館にて、これまでのバスケットの経験や今シーズンのチームでのプレーなどについて語っていただきました。今年7月のパリ五輪での活躍が期待されます。

下手だと分かって練習に臨んでいます  
向上心をもって練習に臨んでいます



せんしゅ  
バスケットボール選手  
いのうえ そういちろう  
**井上 宗一郎 さん**  
Profile

1999年5月7日生まれ。世田谷区立弦巻小学校、梅丘中学校卒業。Bリーグ「越谷アルファーズ」所属。各年代の日本代表に名を連ね、2023年度バスケットボール男子日本代表としてFIBAバスケットボール ワールドカップ2023メンバー12名にも選出される。越谷アルファーズでは2023-24SEASON B1昇格に貢献。恵まれた体格を活かしてゴール下で体を張りつつ、3Pシュートを武器としたパワーフォワードとして活躍している。

遊び感覚で始めたのがきっかけ

バスケットボールを始めた時のことは覚えていますが。

小学校4年生の時に、友だちから桜小学校のミニバスケットに誘われて始めました。そのときから身長が高かったのでバスケットは体格を生かせるなどと思い、遊び感覚で始めたのがきっかけです。

弦巻小学校と梅丘中学校を卒業されていますが、印象に残っている思い出はありますか。

中学の頃、バスケット部の部員が18人程度、よくそのメンバーで遊んでいました。また、当時のバスケット部の顧問の先生や担任の先生には本当にお世話になりました。

中学3年生の時は全国大会でベスト8となりましたが、試合で印象に残っていることはありますか。

自分たちは予選とトーナメントで優勝と2回あたりどちらも負けてしまいました。

したが、大会を通じて自分たちが一番いい試合をしたと思うので、悔いはなかったです。

卒業後は福岡の大濠高校、大学は筑波大学に進学されましたが、バスケットをする環境はどう変わりましたか。

中学の頃は練習時間が限られ、強豪校と比べると練習時間がなくて、体育館を他の部活と調整して使っていました。本場にチームメイトはバスケットを楽しむんでいました。高校は皆全国からスカウトで来ていて、練習量も多かったのですが、とにかくもうやるしかないという感じでした。大学になると自由な時間が増えたと、主体性が大切になり、いろいろなことにチャレンジして失敗しての繰り返しでした。

大事なのは気持ちの部分

プロバスケット選手として日本代表としても活躍されていますが、その秘訣は何だと思えますか。

自分が上手いとはあまり思っていない部分があったと思っています。自分が下手だと分かっているからこそ、高校生の時から土日や試合後も含めて、ボールに触れない日はないくらい毎日たくさん練習をしました。その結果、今でも自主練習を行う癖がついていて、向上心をもって練習に臨んでいます。

Bリーグや日本代表の試合では身長や体格の大きい外国人選手と対戦することも多いですが、何か心掛けていることはありますか。

トレーニングはもちろんのこと、やはり大事なのは気持ちの部分だと思います。外国人選手からすると日本の選手は甘く見られてしまうことが多く、それに対して自分の気持ちが上回らないと勝てないため、絶対に負ける気はないという心構えで試合に向かっています。

井上選手がチームの役割として心掛けていることはありますか。

チームスポーツといっても一人ひとりみな役割が違うので、まずは自分自身の役割を遂行する力が一番大事だと思います。僕だったら外国人選手との張り合いやすリーポイントシュートが役割となります。

みんなが得点を決めるチャンス!

昨年のワールドカップでの日本チームの大躍進もあり、バスケットを始めたいと思っている子どもたちに、バスケットの魅力をお話してください。

バスケットは他の競技と比べて、個人個人が得点を決めるチャンスがあり、みんなが楽しめる瞬間が多いと思います。競技を始めたばかりの頃はシュートが入ったことから楽しさが芽生えてくると思うので、そのような意味ですごく面白いと思います。

今年パリ五輪もあり、より一層バスケットが注目されますが、井上選手の意気込みを教えてください。

昨年はワールドカップ、Bリーグ共に個人的に悔しい部分の多いシーズンだったので、本当に心残りでした。今年はその悔しい気持ちをバネに、また挑戦できるチャンスとして、オリンピックの代表メンバーに残れるように頑張りたいと思います。

世田谷区の子どもたちに向けたメッセージをお願いします。

世田谷区にはバスケットも含めていろいろなスポーツをする機会がたくさんあるので、遊びからでもいいから何かやってみてほしいと思います。その中でもチームスポーツは楽しみながら人と関わり方や自分の立ち位置・役割を決めていくことなど、自分のためになり成長できるので、ぜひスポーツには挑戦してほしいと思います。